

地域とともに繁栄を！

あさげ新聞



阿南町で2件目となるコンビニエンスストア「ローソン阿南町新野店」が七月五日（金）にオープンしました。

この地域の商工業において、人口の減少や担い手の高齢化で、商店の減少が進み、地域コミュニティ維持が困難になってきました。衰退する生活基盤のテコ入れと、観光客にも分かりやすい、施設環境を整える事を目的に、阿南町役場と議論を進め、あさげの里が運営会社としてローソンを経営して行くことになりました。お近くにお越しの際には是非お立ち寄りください。

【七月の主な活動】

- 1. 稲作事業
 - ・けい酸加里／穂肥散布
 - ・いもち病薬剤散布
- 2. 園芸事業
 - 【野菜栽培】
 - （播種）キャベツ
 - （定植）キュウリ三期分
 - （収穫・出荷）夏野菜など
 - 【どうもろこし栽培】
 - ・二期、三期、四期、雄花切り取り
 - ・三期、四期、五期、追肥／消毒
- 3. 薬草事業
 - 畝の草取り
- 4. 加工事業
 - 味噌個包装／出荷

地域共生推進室 発行
【46号】
2024年8月7日発行
ご意見・質問は下記のメールまでどうぞお寄せ下さい。採用された方には旬の野菜をプレゼント！
mail ; ta-hara@koaglobal.com

稲作事業

七月二十、二十一日と一回目の穂肥を散布し、二十九日に十六圃場で出穂を確認しました。田植えから約七十七日になります。



いもち病対策

七月に入り、イネいもち病に感染しやすい気象条件の日が続ぎ、点検から戻った、ドローンを使って、いもち病薬剤散布を始めました。点検業者の方にも、操作に立ち会ってもらい、効率の良い散布方法を教育頂きました。



園芸事業

夏野菜が収穫時期を迎え、連日野菜の収穫 出荷が忙しくなってきました。道の駅も生産者が増え置き場が賑わっています。



地球温暖化で毎年気温が上昇する中で、働き方を変えています。出勤可能なスタート時間を、五時二十分、六時二十分、七時二十分、定時と四段階にし、朝早くから作業を開始し、気温がピークになる午後の作業時間を極力少なくし、熱中症のリスクを軽減しています。



トウモロコシ栽培

初収穫

七月十一日、今年初のトウモロコシの収穫です。今日は平日ですので、数量を絞り、Lサイズ以上に狙って一期のあんみつ姫を収穫しました。糖度も二十、三度ありました。



現在の成果

今年道「感」のニーズも高く、売価も良い、どうもろこし栽培に注力しようと栽培管理を強化してきました。定植後、マルチ穴の茎を、雑草により養分を取られまいと粉殻を撒いたり、追肥や消毒のタイミングを重視し、また現代農業の雑誌に、受粉が終わったら雄花を切る事で、害虫予防に良いとの記事を実践してみたり、新しい試みを重ねて来ました。

天候に恵まれた事もありますが三期までの出荷が終わり、定植数一万三千四百三十三本、売上本数一万二百八本、良品率七十六%、収穫サイズもL・Lの上位二サイズで七十%と良い結果が出ていて、既に今期目標売上金額を達成しました。

薬草事業

センブリ

センブリも二十日くらいの周期で畝の草切が必要です。センブリは私が担当として責任持って一人で管理しています。午前中を作業の中心と置き、五時に家を出て、六時二十分から作業に就いています。

毎回病気に掛かっているか、恐る恐る遮光ネットを捲り上げ、作業を始めます。今回は畝に何か所くらいの葉枯れを確認しましたが、大きな問題になるほどではありません。午前の六時間作業を続け、除草できるのは一畝です。根気が必要な地味な作業です。良かれと思って敷いた黒の防草シートが体力を奪います。



健康まで

七月四日（木）、十四時からのローソンオープニングセレモニーが開催され、勝野町長を始め来賓の皆様、土地の所有者、近隣の皆様、施業者、ローソン関係者と、約四十名の皆様にご参加頂きました。

